

学校だより

津久戸

令和8年4月6日

4月号 一 新宿区立津久戸小学校

津久戸小チームワーク

校長 本間 基史

私は管理職が自分でチーム〇〇というのは、勝手な自己満足のように捉えられるのでは？と穿った考えをしてしまい使ったことはありません。しかし、卒業式の日津久戸小学校のチームワークの良さに感動しました。卒業式当日、登校はしたのですが、体調が優れず、卒業証書授与式には参加出来ずに保健室で待機していた児童がいました。幸い、保護者の方と卒業生と一緒に写真撮影する時には回復して、写真を撮ることができました。6年生担任も校長も思いは一つ、この後すぐに会場を同じように復元して、みんなの前で一人だけの卒業証書授与式を行おう。職員は阿吽の呼吸で、ステージ上の花、職員席、卒業証書の筒を渡す場所を整えていきます。卒業生もパイプ椅子は片づけてありませんが、自分たちの座っていた場所に通路を空けて同じように整列します。児童の名前を呼名し、卒業証書を授与し、練習と同じように、証書を筒に入れてもらい。整列している卒業生児童の間を通過して、自分の座席に戻るよう並びました。

会場は卒業生、保護者、職員の温かい拍手に包まれました。卒業証書の準備に、会場再現に、指示がなくてもテキパキ動き、児童も言われなくても、式と同じように整列し、無事、一人だけの卒業証書授与式を終えることができました。職員だけではなく、児童、保護者も連携した津久戸小学校のチームワークの良さに感動しました。日頃から「子供たちのために」という職員の姿勢が伝わってきました。

私は津久戸小学校を誇らしく思いました。そんな素敵な子供たちと保護者の方々と職員がいる学校で本年度も校長を務めさせていただきます。

学校が楽しいと思えるように、授業改善、生活指導改善を進めて参ります。ほとんどの学年が持ち上がりせずに新しい学級担任との出会いとなりました。

年度末に校長室に何人かの児童が「校長先生、来年度も〇〇先生がいいです。お願いします。」と言われてしまいました。嬉しく思いましたが、新しい出会いでリスタートしましょう。本年度もよろしくお願いします。

